

なぜ？なぜ？先生

～みんなの不思議～

なんで蚊に刺されるとかゆいのかな？

プーン、夏になると聞こえてくるあの音、好きな人はいないでしょう。

蚊は動物の血を吸って卵を産み子孫を残します。けっして人間に嫌がらせをするためではありません。ただ生きるため命をつなぐために叩かれる危険があっても人の血を吸いに来るんです。蚊は人を刺したとき、痛くない成分を出して気づかれないように血を吸っています。しばらくして蚊が血を吸い終わったころ、あのイヤなかゆみが起こってきます。でもあのかゆみが実はとても大切なことなんです。

人の体には免疫細胞のマモル君が暮らしていて、体に入ってきた悪いものを取り除く仕事をしています。「体に悪いものが進入したぞ、かき出せッ！」マモル君が緊急指令を出しました。たちまちかゆみが起こり赤く腫れ上がりました。

かゆくて体をかきむしりたくなるのは、蚊の唾液に入っているウイルスや寄生虫の感染から命を守るために私たち人間に備わった大切なしくみだったんです。マモル君は、虫さされだけではなくインフルエンザなどの多くの病原菌からも24時間休むことなく体を守っていてくれます。私が知らないところでマモル君は健康のために一生懸命に働いてくれていたのですね。

健康でいられることはとてもありがたいことです。マモル君に感謝しましょう。

